



OPERATING INSTRUCTIONS

日本語

Calibre Number:
 Numéro de calibre :
 Número de calibre:
 Kalibernummer:
 Numero di calibro:
 キャリバー番号:
 칼리버 번호:
 機芯號:
 机芯号:
 رقم العيار:

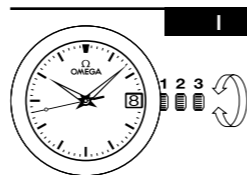
Contents

A

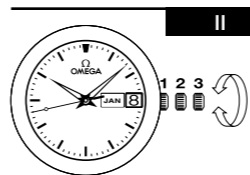
Fig. I-XVI
 Fig. I-XVI
 Fig. I-XVI
 Abb. I-XVI
 Fig. I-XVI
 図 I-XVI
 그림 I-XVI
 圖 I-XVI
 圖 I-XVI
 I-XVI الشكل

Figure Number:
 Numéro de figure :
 Número de figura:
 Abb. Nr.:
 Numero di figura:
 図番号:
 그림 번호:
 圖片編號:
 图片编号:
 رقم الشكل:

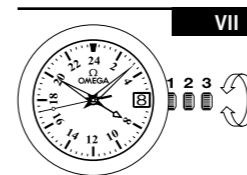
Page:
 Page :
 Página:
 Seite:
 Pagina:
 ページ:
 페이지:
 頁碼:
 页码:
 الصفحة:



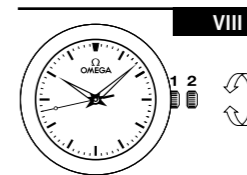
Number of calibres:
 1424, 1532, 2500, 2507, 4561, 4564, 8500,
 8501, 8507, 8508, 8511, 8520, 8521, 8700,
 8701, 8800, 8801, 8900, 8901, 8910



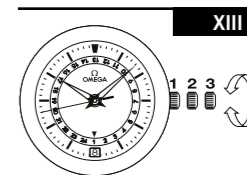
Number of calibres:
 8601, 8611, 8902, 8903



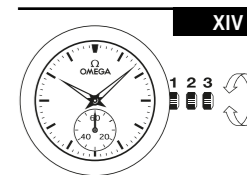
Number of calibres:
 8605, 8615, 8906



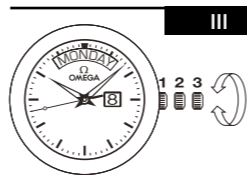
Number of calibres:
 2403, 8421, 8703, 8806, 8807



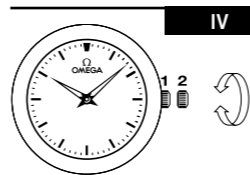
Number of calibres:
 8938, 8939



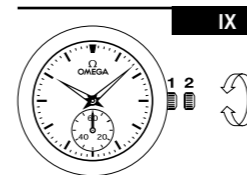
Number of calibres:
 8926, 8927



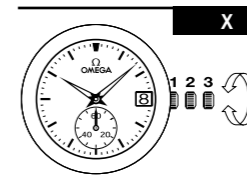
Number of calibres:
 8602, 8612



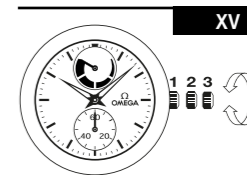
Number of calibres:
 1376, 4061



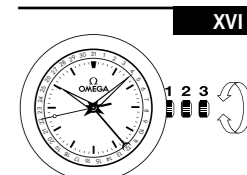
Number of calibres:
 2202, 2211, 8804, 8805



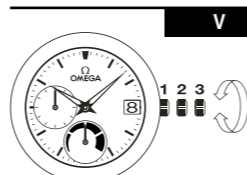
Number of calibres:
 8802, 8803, 8916, 8917



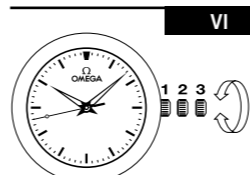
Number of calibres:
 8934, 8935



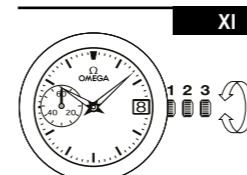
Number of calibres:
 8936



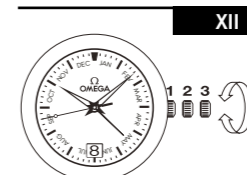
Number of calibres:
 2627, 8810, 8811



Number of calibres:
 8400, 8401, 8912, 8913, 8928, 8929



Number of calibres:
 8704, 8705



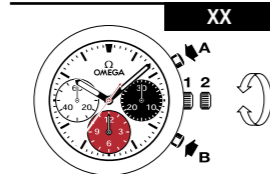
Number of calibres:
 8922, 8923



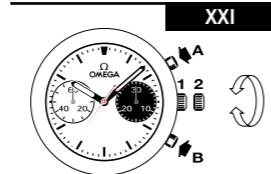
Minute counter
Compteur minutes
Contador de minutos
Minutenzähler
Contatore minuti
分カウンター
분 단위 적산계
分鐘累計器
分钟累計器
عداد الدقائق



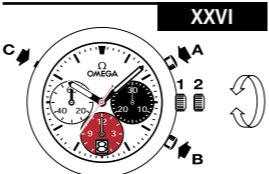
Small seconds
Petite seconde
Pequeño segundo
Kleine Sekunde
Piccoli secondi
小秒針
초바늘
小秒針
小秒針
عقرب الثواني الصغير



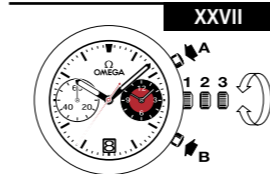
Number of calibres:
321, 1861, 1863, 1865, 1869, 3201,
3861, 3869



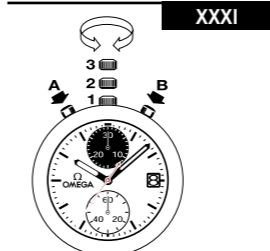
Number of calibres:
3203



Number of calibres:
3330



Number of calibres:
9300, 9301, 9900, 9901, 9906, 9920



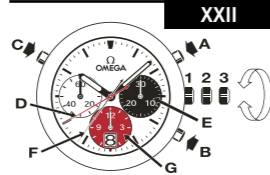
Number of calibres:
3113



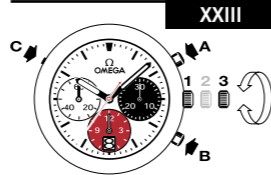
Hour counter
Compteur heures
Contador de horas
Stundenzähler
Contatore ore
時カウンター
시간 단위 적산계
小時累計器
小时累計器
عداد الساعات



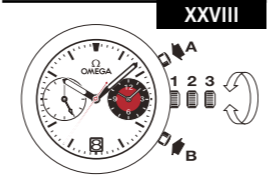
Chronograph seconds
Seconde chronographe
Segundero de cronógrafo
Chronographensekunde
Secondi cronografici
クロノグラフ秒針
크로노그래프 바늘
計時秒針
计時秒針
عقرب ثواني الكرونوغراف



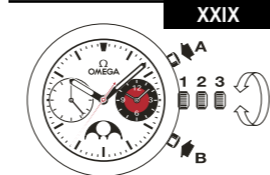
Number of calibres:
3612



Number of calibres:
3304



Number of calibres:
9605, 9615



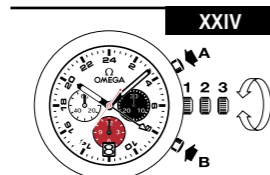
Number of calibres:
9904, 9905, 9914



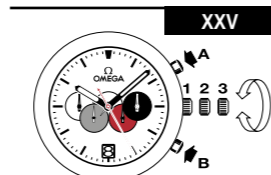
Day counter
Compteur jours
Contador de dias
Datumsanzeige
Contatore giorni
曜日カウンター
날짜표시기
星期累計器
星期累計器
عداد الأيام



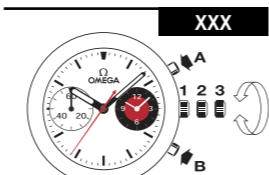
GMT hand
Aiguille GMT
Aguja GMT
GMT-Zeiger
Lancetta GMT
GMT針
GMT 바늘
GMT 指針
GMT 指針
عقرب جي أم تي



Number of calibres:
3603



Number of calibres:
3888



Number of calibres:
9908, 9909



Hours and minutes counter
Compteur heures et minutes
Contador de horas y minutos
Stunden- und Minutenzähler
Contatore ore e minuti
同軸の時、分カウンター
시, 분 단위 적산계
小時、分鐘計時器
小时、分钟計時器
عداد الساعات والدقائق



Date hand
Aiguille date
Aguja de la fecha
Datumszeiger
Lancetta della data
デイト指針
날짜 바늘
日期指針
日期指針
عقرب التاريخ



B

Fig. XX-XXXI
Fig. XX-XXXI
Fig. XX-XXXI
Abb. XX-XXXI
Fig. XX-XXXI
圖 XX-XXXI
그림 XX-XXXI
圖 XX-XXXI
圖 XX-XXXI
圖 XX-XXXI
圖 XX-XXXI
الشكل XX-XXXI

1

はじめに

- オメガ製品を永くお使いいただくために／環境保護 254
- 皮製品バンド／反射防止処理／ネジ込み式リュウズ 257
- オメガ国際保証 258

2

取扱説明

- クォーツ
 - キャリバー： 1376, 1532, 4061, 4561, 4564 260
 - 1424 261
- 手巻き及び自動巻き
 - キャリバー： 8400, 8401, 8500, 8501, 8507, 8508, 8511, 8900, 8901, 8910, 8912, 8913, 8916, 8917, 8926, 8927, 8928, 8929, 8934, 8935, 8936 262
 - 8601, 8611, 8902, 8903, 8922, 8923 264
 - 8602, 8612 265
 - 2500, 2507, 2627, 8520, 8521, 8700, 8701, 8704, 8705, 8800, 8801, 8802, 8803, 8810, 8811 266
 - 2202, 2211, 2403, 8421, 8703, 8804, 8805, 8806, 8807 267
- 手巻きクロノグラフ
 - キャリバー： 321, 1861, 1863, 1865, 1869, 3201, 3203, 3861, 3869 268
 - 9906, 9908, 9909 270
- 自動巻きクロノグラフ
 - キャリバー： 3330 271
 - キャリバー： 3113, 3304, 3888 272
 - 9300, 9301, 9900, 9901, 9920 274
- ムーンフェイズ表示付き自動巻きクロノグラフ
 - キャリバー： 9904, 9905 275
- ムーンフェイズ手巻きクロノグラフ
 - キャリバー： 9914 276
- 自動巻きスプリット・セコンド・クロノグラフ
 - キャリバー： 3612 277
- GMT、ワールドタイマー、及びGMTクロノグラフ
 - キャリバー： 3603, 8605, 8615, 8906, 8938, 8939, 9605, 9615 279

3

仕様及び概要

- クロノメーター／Master Chronometer (マスタークロノメーター)／15000ガウス 282
- 温度補正クォーツ 283
- ヘリウム・エスケープバルブ 284
- 目盛り 286
- バックル&クラスプ 289
- プロブロフ ベゼル及びリュウズ 295
- ブルヘッドリュウズ／収納可能なリュウズ 296
- クロノロック／素早く付け替えられるストラップ 297
- 各種のピクトグラム 299

OMEGA®時計を永く使用するための注意事項は？

磁気：磁石、スピーカー、冷蔵庫、iPadケース、その他タブレットなどの近くに腕時計を置かないでください。これらの機器から発せられる強い磁気、時計の歩度に悪影響を与える可能性があります。マスター コーアクシャル、Master Chronometer（マスター クロノメーター）の表記のあるモデルは、15000までの磁場に耐えることが可能です（1.5テスラ）。

海水：時計を海中で使用した後は、必ず軟水で洗い流して下さい。

衝撃：物理的衝撃や急激な温度変化は避け下さい。

リュウズ：リュウズはケース側に押し込み（1の位置）、機械に水が入らないようにしてください。水中ではリュウズの操作はしないでください。

ねじ込み式リュウズ：常にリュウズが完全にねじ込まれていることを確認して、機械に水が入らないようにしてください。水中では操作しないでください。

クリーニング：金属製のブレスレット、ラバー・ストラップ、防水ケースは、石鹼水を付けた歯ブラシでクリーニングし、柔らかな布で拭いて下さい。

各種化学製品：溶剤、洗剤、香水、化粧品、殺虫剤などがかったり、直接接触するのを避けて下さい。ブレスレットやケース、バックシンを損傷する恐れがあります。

温度：極端な温度（60℃以上、0℃以下）や、極端な温度変化にさらさないで下さい。

防水性：時計の防水性は永久に保証されるものではありません。防水性の保持状態は、特にバックシンの経時変化やリュウズに誤って与えられた衝撃によって変わります。時計の防水性を一年に一度オメガの正規サービスセンターで検査することをお勧めします。

クロノグラフ・プッシュボタン：内部メカニズムへの浸水を防ぐために、水中でクロノグラフのプッシュボタンを操作することは避けて下さい。ただし、シーマスター ダイバー 300Mおよびブラネットオーシャン600Mは水の中でのプッシュボタン操作が可能です。

メンテナンス間隔はどの位が適正でしょうか？

全ての精密機器同様、時計が完璧に作動するには定期的なメンテナンスが必要です。製品や気候、お客様のご使用状況やお手入れ状態によって差がありますが、原則として、5年から8年毎に時計をメンテナンスに出すことをお勧めします。

メンテナンス・サービスやバッテリーの交換はどこに連絡すれば良いのでしょうか？

認定されたオメガサービスセンター、またはオメガの正規販売店までお問い合わせください。オメガ社の基準に従ったサービスでメンテナンスを承ります。

動作に損害を与える可能性のある漏洩リスクを回避するため、消耗した電池もすぐに交換する必要があります。電池の種類は、お買い上げいただきました時計に付属している保証書に記載されています。

リチウム電池、または非リチウム電池についての重要な情報：**注意****電池は子供の手の届かない場所に保管してください**

電池を飲み込むと化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。誤飲した場合、2時間以内に重度のやけどを引き起こす可能性があります。万一飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

寿命がきたクォーツ時計の回収と取り扱いについて*



この記号は本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、あなたは、環境及び人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。



*EU加盟国及びこれに対応する法律がある国に適用されます。

皮革製バンドを良好な状態で長期間ご愛用いただくために、次の事柄を実行なさることをお勧めします。

- 着色や変形から護るために、水分や蒸気などとの接触を避けて下さい。
- 退色が起きないように、長時間直射日光にさらすことを避けて下さい。
- 皮革は浸透性であることを充分ご承知おき下さい。従って、油脂性物質や化粧品との接触を避けて下さい。
- 皮革製バンドに問題がある場合は、ご遠慮なく最寄りのオメガ取扱店にご相談下さい。



サファイア・クリスタルの両面に施されている反射防止処理は文字盤の視認性を高めています。時計を長年ご使用されると表面にマーキングが現れることがありますが、これは通常の現象と見なされ、保証には含まれませんので、予めご了承下さい。



一部のモデルではネジ込み式リュウズが装備され、ご使用前に、時計を操作するためにネジを緩める必要があります。操作後は、リュウズを1の位置に押し込み、再びネジを締めて下さい(防水性確保のため)。

OMEGA SA*は、2018年7月1日以降に購入されたすべてのオメガ*ウォッチに対し、本保証書に規定する条件により、お買い上げの日から(60)ヶ月間保証いたします。

このオメガ国際保証は、お買い上げになったオメガウォッチがお客様に引き渡された当時すでに存在していた材料上及び製造上の欠陥(以下単に「欠陥」という場合はかかる意味での欠陥をいいます)を対象とします。この保証はオメガの正規特約店が、本保証書に、日付その他の事項を漏れることなく正確に記入したう捺印をした場合に、はじめて有効となります(以下かかる条件を満たした保証書を「有効な保証書」といいます)。

お客様は、保証期間中は有効な保証書を提示することにより、全ての欠陥について無料で修理を受けることができます。お客様のオメガウォッチを正常に使用できる状態に修理するのが不可能な場合は、OMEGA SA が、同一ないし同種のオメガウォッチとの交換を保証いたします。2018年7月1日以降に購入されたすべてのオメガウォッチについて、交換後の時計に対する保証は、交換前の時計のお買い上げの日から(60)ヶ月間とします。

製造者の保証は以下の場合には適用されません。

- バッテリーの寿命
- 通常使用による摩耗や老朽化(例、クリスタル部分の擦過傷、皮革、テキスタイル、ラバーなどの非金属性ストラップ及びチェーンの変色・変質。メッキ部分の剥がれ)
- 異常な使用、乱用、不注意、過失、事故(打撃、陥没、衝突、ガラス破損等)、間違った使い方、OMEGA SA*が指示した使用方法を守らなかったことに起因する時計の損傷
- OMEGA®時計の使用、機能不全、欠陥、不正確性などから派生するあらゆる間接的・派生的損害

- OMEGA®時計のバッテリー交換、アフターサービス、修理等について権限を与えられていない者に行われた場合またはOMEGA SA*の管理が及ばないところで時計の元の状態に変更を加えている場合

OMEGA SA*に対するその他の請求、例えば上記の保証に加えて損害賠償等の請求をされましても、お買い上げ主が製造者に対して法律上の権利を有している場合を除いて、それらの請求は保証の対象外となります。

- 上記の製造者保証は、販売店が行う保証とは別個独立の保証であり、販売店の保証については、販売店が一切の責任を負うことになっています。
- 上記の製造者保証は、販売店に対するお買い上げ主としての権利またはその他お買い上げ主が販売店に対して有するあらゆる法律上の権利に影響を及ぼすものではありません。

お客様のOMEGA®時計のメンテナンスにつきましては、OMEGA SA*のカスタマーサービスが完璧に行います。万が一お客様の時計に問題が生じた場合は、オメガ公式ウェブサイトに記載されている、正規OMEGA®特約店またはOMEGA®指定サービスセンターにご相談いただければ、OMEGA SA*の基準にしたがったサービスをお約束いたします。

* OMEGASA
Rue Jakob-Stämpfli 96
CH-2502 Bienne

OMEGA®及び®は登録商標です。

キャリバー 1376、4061 (図 IV)

リュウズには2つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**：リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。
2. **時刻のセット**：リュウズを2の位置に引き出しどちらか一方へ回して針を望みの時刻に合わせます。その後再び1の位置に戻します。

キャリバー 1532、4561、4564 (図 I)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**：リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。
2. **日付の修正**：リュウズを2の位置に引き出し、手前または向こう側へリュウズを回します。望みの日付になったらリュウズを1の位置に戻します。
3. **時刻のセット**：リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し針を望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

バッテリー消耗インジケーター：

バッテリーが消耗すると秒針が4秒単位でジャンプして知らせてくれます。時計はその後数日作動しますが、出来るだけ早くオメガ指定サービスセンターにてバッテリーを交換してください。

キャリバー 1424 (図 I)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**：リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。
2. **タイムゾーン及び日付の修正**：リュウズを2の位置に引き出し、手前又は向こう側へ回します。時計は一時間単位でジャンプし前進又は後退します。時計が真夜中を通過すると、日付が進むか又は戻ります。リュウズを再び1の位置に押し戻します。
3. **時刻のセット**：リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回して針を望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

バッテリー消耗インジケーター：

バッテリーが消耗すると秒針が4秒単位でジャンプして知らせてくれます。時計はその後数日作動しますが、出来るだけ早くオメガ指定サービスセンターにてバッテリーを交換してください。

キャリバー 8500、8501、8507、8508、8511、8900、
8901、8910 (図 I)

キャリバー 8400、8401、8912、8913、8928、8929 (図 VI)

キャリバー 8916、8917 (図 X)

キャリバー 8926、8927 (図 XIV)

キャリバー 8934、8935 (図 XV)

キャリバー 8936 (図 XVI)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置(時計着用時位置)**: リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を60時間(キャリバー 8910、8928、8929は72時間)以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

キャリバー 8511、8910、8926、8927、8928、8929(手巻き)
必要時の巻き上げ: リュウズを向こう側へ止まるまで回します(無理に回さないで下さい)。

キャリバー 8934および8935 - 手巻き: パワーリザーブ表示が最大の位置にくるまでリュウズを前方向に回します。

2. **タイムゾーン及び日付の修正**: リュウズを2の位置に引き出し、手前又は向こう側へ回します。時針は一時間単位でジャンプし前進又は後退します。時針が真夜中を通過すると、日付が進むか又は戻ります。リュウズを再び1の位置に押し戻します。

備考: キャリバー 8400、8401、8912、8913、8926、8927、8928、8929、8934、8935は日付表示機能がありません。

- △ **注意**: タイムゾーン修正時に後退させる場合、日付変更を確実にするために必ず午後7時まで戻してください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

キャリバー 8934および8935 - パワーリザーブ表示

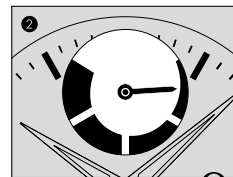
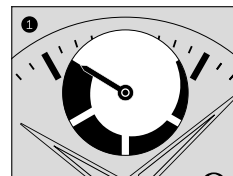
(12時位置の表示)

時計が完全に巻き上げられると、パワーリザーブ表示は最大位置を示します(図1)。

時間とともに、パワーリザーブ表示は反時計回りに徐々に移動していきます。

パワーリザーブ表示が最後の4分の1を示すとき(図2)、時計のパワーリザーブ残量が少なくなっていることを意味します。その場合は、時計が止まらないように、手で巻き上げる必要があります。

手で巻き上げる場合(リュウズは1の位置)、パワーリザーブ表示



キャリバー 8601、8611、8902、8903 (図 II)**キャリバー 8922、8923 (図 XI)**

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**: リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を55時間以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

2. **年次カレンダー**: リュウズを2の位置に引き出します。日付を修正するにはリュウズを向こう側に回し、月を修正するには手前に回します。リュウズを1の位置に押し戻します。

備考: 2月28日、または29日 (閏年の場合) の翌日は、1~2日の修正が必要になります (2の位置でリュウズを回す)。日付の修正は、時刻のセットの後に行うようにします。午前0時から午前10時の間に日付を修正する際、はじめのうちは少し力を入れる必要があります。

- △ **注意**: 表示 (曜日や日付) が小窓の中央にないときは、修正操作を終了しないようにしてください。

キャリバー 8922、8923: 日付が小窓の中央にないとき、月表示の針が月表示用小窓の中央にないときは、修正操作を終了しないようにしてください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズを手前又は向こう側へ回して針を望みの時刻に合わせて合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

- △ **注意**: 時刻の設定で日付を戻して修正する場合、日付の移行が支障なく行われるには、必ず正午まで戻すようにして下さい。

キャリバー 8602、8612 (図 III)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**: リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を55時間以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

2. **曜日と日付の修正**: リュウズを2の位置に引き出し、日付の修正はリュウズを手前に回し、曜日の修正は向こう側へ回します。リュウズを1の位置に戻します。

- △ **注意**: 表示 (曜日や日付) が小窓の中央にないときは、修正操作を終了しないようにしてください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズを手前又は向こう側へ回します。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

- △ **注意**: 時刻の設定で曜日と日付を戻して修正する場合、日付と曜日の移行が支障なく行われるには、必ず午後2時まで戻すようにしてください。

キャリバー 2500、2507、8520、8521、8700、8701、(図 I)
8800、8801

キャリバー 2627、8810、8811 (図 V)

キャリバー 8802、8803 (図 X)

キャリバー 8704、8705 (図 XI)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**: リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を48時間 (キャリバー 8800、8801、8802、8803、8810、8811は55時間/キャリバー 8520、8521、8700、8701、8704、8705は50時間)、またはそれ以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

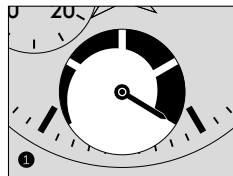
2. **日付の修正**: リュウズを2の位置に引き出し、手前側へ (キャリバー 8520、8521、8700、8701、8704及び8705は向こう側へ) 回し望みの日付を表示させて、リュウズを再び1の位置に押し戻します。

△ **注意**: 午後8時から午前2時の間に日付を変更するのは避けてください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回して望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に戻して秒針を同調させます。

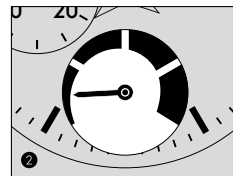
キャリバー 2627、8810、8811 –
パワーリザーブ インジケーター
(6時位置)

時計が完全に巻き上げられると、パワーリザーブ表示は最大位置を示します (図 1)。



時計を着けていない場合やあまり使っていない場合は、パワーリザーブ表示は徐々に反時計回りに移動していきます。

パワーリザーブ表示が最後の4分の1を示すとき (図2)、時計のパワーリザーブ残量が少なくなっていることを意味します。その場合は、時計が止まらないように着用するか、手動で巻き上げる必要があります。



手動で巻き上げるとき (リュウズは1の位置) や時計着用時 (自動巻きの場合)、パワーリザーブ表示は時計回りに動きます。

キャリバー 2202、2211、8804、8805 (図 IX)

キャリバー 2403、8421、8703、8806、8807 (図 VIII)

リュウズには2つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置)**: リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を44時間 (キャリバー 8421、8703は50時間/キャリバー 2211は53時間/キャリバー 8804、8805、8806、8807は55時間)、またはそれ以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

キャリバー 2211 – 必要時の巻き上げ: リュウズを向こう側へ止まるまで回します (無理に回さないでください)。

2. **時刻のセット**: 時、分。リュウズを2の位置に引き出します。どちらか一方へ回して望みの時刻を合わせます。リュウズを再び1の位置に戻します。

キャリバー 2202、2403、8421、8703、8804、8805、8806及び8807のみ: 時報に合わせてリュウズを1の位置に戻すと秒針が同調します。

キャリバー 321、1861、1863、1865、1869、3201、 (図 XX)
3861、3869

キャリバー 3203 (図 XXI)

時計機能:

リュウズには2つの位置があります。

1. **通常の位置 (着用時)**: リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: リュウズを向こう側へ止まるまで回します (無理に回さないで下さい)。

備考: 必要以上に巻き上げを行わないで下さい。時計が着用されている場合、1日1回の巻き上げで安定した作動が得られます。

2. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを2の位置に引き出し、どちらか一方へ回して針を望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを再び1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

備考: キャリバー 321、1861、1863、1865及び1869は「ストップ・セコンド」機能がありません。また、時報に合わせて同調はできません。

クロノグラフ機能:

• **プッシュボタンA**: スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。

キャリバー 321は、1/5秒単位の精度で12時間までの計測が可能です。

キャリバー 1861、1863、1865、1869、3861及び3869は、1/6秒単位の精度で12時間まで計測が可能です。

キャリバー 3203は、1/8秒単位の精度で30分までの計測が可能です。

キャリバー 3201は、1/8秒単位の精度で12時間まで計測が可能です。

• **プッシュボタンB**: リセット (停止後)

備考: リセット機能は、必ずクロノグラフを停止させてから使用するようにします。クロノグラフの2つのプッシュボタンAとBを決して同時に押さないようにして下さい (キャリバー 3201)。

キャリバー 9906 (図 XXVII)
キャリバー 9908、9909 (図 XXX)
時計の機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常的位置 (着用時):** リュウズをケース側に押し込むと、防水性が確保されます。

巻き上げ: リュウズを止まるまで前方向に回します (巻きすぎないでください)。

注意: 必要以上に巻き上げないでください。常に着用している場合は、毎日1回巻き上げると、正常に機能します。

2. **タイムゾーンと正しい日付の調整:** リュウズを2の位置まで引き出します。リュウズを前後に回します。時針は一時間単位で前後に動きます。時針が0時を過ぎると、日付が前後に動きます。リュウズを1の位置まで押し戻します。

備考: キャリバー 9908および9909には日付表示はありません。

- △ **注意:** タイムゾーンや日付を逆方向に戻す場合は、時針を午後7時過ぎまで戻さないと、日付が変わりません。

3. **時刻の設定:** 時 - 分 - 秒。リュウズを3の位置まで引き出すと、秒針が停止します。リュウズを前後に回します。時報に合わせてリュウズを1の位置まで押し戻すと、秒針が動き始めます。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA:** スタート - ストップ、スタート - ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最大12時間まで計測可能。
- **プッシュボタンB:** リセット (停止後)。

キャリバー 3330 (図 XXVI)
時計機能:

リュウズには2つの位置があります。

1. **通常的位置 (着用時):** リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を52時間、またはそれ以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

2. **時刻のセット:** 時、分、秒。リュウズを2の位置に引き出すと、秒針が停止します。リュウズをどちらか一方へ回し望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻すと秒針が同調します。

日付の修正: 10時の位置の修正ボタンCを押します。

- △ **注意:** 午後8時30分から午後11時の間には日付を修正できませんのでご注意ください。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA:** スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8単位の精度で最高12時間まで計測可能です。
- **プッシュボタンB:** リセット (停止後)。

備考: リセット機能は、必ずクロノグラフを停止させてから使用するようになります。

キャリバー 3304	(図 XXIII)
キャリバー 3888	(図 XXV)
キャリバー 3113	(図 XXXI)

時計機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常的位置 (着用時):** リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

必要時の巻上げ: 時計を48時間 (キャリバー 3113、3888は52時間)、またはそれ以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

2. **日付の修正:** リュウズを2の位置に引き出し、向こう側に回して望みの日付に合わせ、再び1の位置に戻します。

△ **注意:** 午後8時30分から午前1時の間には日付を修正できませんのでご注意ください。(キャリバー 3888は、次に記載された注記を参照)。

キャリバー 3304 - 日付の修正: 10時の位置の修正ボタンCを押します。

キャリバー 3888 - 曜日の修正: リュウズを2の位置に引き出し、手前に回し、望みの曜日を表示させます。リュウズを再び1の位置に押し戻します。

備考: このクイックモードでは、曜日の修正を素早く行うことができます。曜日を表示する針が、修正後は中心に位置していることを確認して下さい。

午後10時から午前2時の間には日付と曜日を修正できませんのでご注意ください。この間の時間や、幾つかの状況下においては、セキュリティパーツが修正機能の作動を抑制することがあります。

3. **時刻のセット:** 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し、望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻すと秒針が同調します。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA:** スタート・ストップ、スタート・ストップの繰返し。
1/8秒単位の精度で最高12時間または、7日 (キャリバー 3888) まで計測可能です。
- **プッシュボタンB:** リセット (停止後)。

キャリバー 9300、9301、9900、9901、9920 (図 XXVII)

時計機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常的位置 (着用時)**: リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

必要時の巻上げ: 時計を60時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

2. **タイムゾーン及び日付の修正**: リュウズを2の位置に引き出し、手前又は向こう側へ回します。時針は一時間単位でジャンプし前進又は後退します。時針が真夜中を通過すると、日付が進むか又は戻ります。リュウズを再び1の位置に押し戻します。

△ **注意**: タイムゾーン又は日付を戻して修正する場合、日付の移行が支障なく行われるには、必ず午後7時まで戻すようにしてください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズを手前又は向こう側へ回します。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA**: スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最高12時間まで計測可能です。
- **プッシュボタンB**: リセット (停止後)。

キャリバー 9904、9905 (図 XXIX)

腕時計の機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計の着用時位置)**: リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

必要時の巻上げ: 時計を60時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

2. **ムーンフェイズと日付のセット**: リュウズを2の位置に引き出します。リュウズを前に回しムーンフェイズをセットします。月齢盤を満月の位置に合わせ、前回の満月から何日経過したかを数えて (カレンダーなどで調べて)、その日数と同じ回数だけリュウズを回します。次にリュウズを後ろに回して日付を調整します。調整後はリュウズを1の位置に押し戻してください。

3. **時刻のセット**: 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出します。これにより秒の針が停止します。リュウズをどちらか一方へ回して望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻します。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA**: スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最高12時間まで計測可能です。
- **プッシュボタンB**: リセット (停止後)。

キャリバー 9914 (図 XXIX)

時計機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常的位置 (着用時):** リュウズをケース側に押し込むと、防水性が確保されます。

巻き上げ: リュウズを止まるまで前方向に回します (巻きすぎないでください)。

注意: 必要以上に巻き上げないでください。常に着用している場合は、毎日1回巻き上げると、正常に機能します。

2. **日付やムーンフェイスの調整:** リュウズを2の位置まで引き出します。リュウズを時計回りに回してムーンフェイスを調整します。ディスクを「満月」の位置に合わせ、リュウズを回して、前回の満月から数えた日数分の「歯車」をディスクで移動させます (太陰暦を参照ください)。リュウズを反時計回りに回して日付を調整します。リュウズを1の位置まで押し戻します

3. **時刻の設定:** 時 - 分 - 秒。リュウズを3の位置まで引き出すと、秒針が停止します。リュウズを前後に回します。時報に合わせ、リュウズを1の位置まで押し戻すと、秒針が動き始めます。

クロノグラフ機能:

- **プッシャー A:** スタート - ストップ、スタート - ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最大12時間まで計測可能。
- **プッシャー B:** リセット (停止後)。

キャリバー 3612 (図 XXII)

時計機能:

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置):** リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。

必要時の巻き上げ: 時計を52時間以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

2. **日付の修正:** リュウズを2の位置に引き出し、向こう側に回し、望みの日付を表示させ、リュウズを再び1の位置に押し戻します。

△ **注意:** 日付は午後9時から午前0時30分の間には変更できません。

3. **時刻のセット:** 時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

クロノグラフ機能:

- **プッシュボタンA:** スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最高12時間まで計測可能です。
- **プッシュボタンB:** リセット (停止後)

備考: リセット機能は、必ずクロノグラフを停止させてから使用するにします。クロノグラフの2つのプッシュボタンAとBを決して同時に押さないようにして下さい。

自動巻きスプリット・セコンド・クロノグラフ:

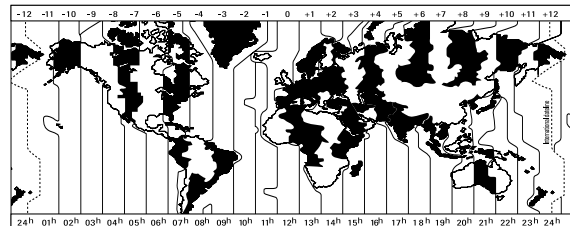
スプリット・セコンド機能によりクロノグラフでの計測進行中に、途中経過時間の測定が可能です。

1. プッシュボタンAを押して計測を開始します (スタート)。
2. 途中経過時間を記録するにはプッシュボタンCを押します。クロノグラフ機能による計測は継続しますが、スプリット・セコンドの針Dは停止し、途中経過時間が表示されます。

△ **注意:** クロノグラフの時G、分E、秒Fの各針が経過時間を継続して測定するため、途中経過時間は直ちに読み取ってください。

3. スプリット・セコンドの針 (D)が再びクロノグラフの秒針Fに重なるようプッシュボタンCを押します。
4. 新たに途中経過時間を記録するには、上記の2の手前から再び開始します。
5. プッシュボタンAを押してクロノグラフを止めます。
6. プッシュボタンBを押してリセットします。

△ **注意:** 上記の3の手順で述べたように、クロノグラフをリセットする前に、スプリット・セコンドの針Dがクロノグラフの秒針Fに重なっている必要があります。



例えば、ロンドンから香港へと東へ向かう場合、リュウズを2の位置に引き出し、時針を進めます (この例の場合は8時間) 上図を利用して時差を算出できます。

逆にロンドンからニューヨークへと西へ向かう場合は、リュウズを2の位置に引き出し、時針を戻します (この例では5時間) 上図を利用して時差を算出できます。

いずれの場合も、出発地のロンドンの時刻を“24時間”針またはディスクが指す24時間目盛りから一目で読み取ることが出来ます。第2タイムゾーンの香港またはニューヨークの時刻は通常の通り読み取ることが出来ます。時針が進むか又は戻るかして真夜中を越えると日付はそれに応じて進むか、戻ります。

キャリバー 8605、8615、8906 (図 VII)

キャリバー 3603 (図 XXIV)

キャリバー 8938、8939 (図 XIII)

キャリバー 9605、9615 (図 XXVIII)

リュウズには3つの位置があります。

1. **通常位置 (時計着用時位置):** リュウズをケース側に押し込むことで、防水性が確保されます。



必要時の巻上げ：時計を60時間（キャリバー 3603は52時間）、またはそれ以上着用していない場合は、1の位置にあるリュウズを回して時計を巻き上げます。

- タイム・ゾーン及び日付の修正：**リュウズを2の位置に引き出し、手前又は向こう側へ回します。時針は一時間単位でジャンプし前進又は後退します。時針が真夜中を通過すると、日付が進むか又は戻ります。リュウズを再び1の位置に押し戻します。
- 時刻のセット：**24時間、時、分、秒。リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し望みの時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻すと秒針が同調します。

キャリバー 8605、8615、8906、3603、9605、9615 – 第二タイムゾーン “GMT”

旅行先でも24時間針の三角ポイントにより、文字盤の24時間目盛りで自宅の時刻を一目で読み取れます。

時針と24時間針の同調：

リュウズを2の位置に引き出して回し、24時間針が文字盤上の24時間目盛りで指す時刻に時計を合わせます。針の位置が午前か午後のとどちらに合わせたか確かめてください。

時計を24時間針に同調させた後、時計の時刻をセットする必要があります。



キャリバー 8938、8939 – 24時間ディスク “ワールドタイマー”

旅行先でも24時間針により、文字盤上に記された都市や地域が示す時間帯の時刻を読み取ることができます。

日付と時刻の修正：

リュウズを3の位置に引き出します。分針とワールドタイムの24時間ディスクがUTC（協定世界時）を指すまでリュウズを回します。ワールドタイムの24時間表示は、文字盤上の都市や地域が示す別のタイムゾーンの時刻を示すようにセットしてください。

リュウズを1の位置に戻すとムーブメントが動きます。

リュウズを2の位置に引き出します。リュウズを手前又は向こう側へ段階的に回して日付をセットします。次に時針の位置を選択したタイムゾーンの時刻に合わせます。真夜中に日付は変わるので、針の位置が午前か午後のとどちらに合わせたか確かめてください。

夏時間を実施されている都市および地域は、その間表示時刻に1時間追加してください。

キャリバー 3603、9605、9615 – クロノグラフ機能：

- **プッシュボタンA：**スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8秒単位の精度で最高12時間まで計測可能です。
- **プッシュボタンB：**リセット（停止後）。

備考：リセット機能は、必ずクロノグラフを停止させてから使用するようにします。クロノグラフの2つのプッシュボタンAとBを決して同時に押さないようにして下さい（キャリバー 3603）。

3 仕様及び概要

クロノメーター／Master Chronometer (マスター クロノメーター)



クロノメーター検定合格ムーブメントを備えたOMEGA®時計

クロノメーターは高精度時計で、ムーブメントは中立の検査協会がISO 3159 (NIHS 95-11) 基準に従って、五つの姿勢、並びに三つの異なる温度で15日間テストをしています。各クロノメーターは固有であり、ムーブメントに施されている番号により識別されます。

NIHS: スイス時計工業規格

Master Chronometer (マスター クロノメーター) 認定のOMEGAウォッチ

「Master Chronometer (マスター クロノメーター)」の時計は、クロノメータームーブメントの装備に加え、10日間のテストの後、お客様の元へ届けられます。時計の着用シミュレーションテストで、Master Chronometer (マスター クロノメーター) の時計の精度、静磁場での耐磁性 (1.5テスラ / 15000ガウス)、パワーリザーブ、防水性を保証します。そのプロセス、測定機器、各時計から得られた結果はMETASにより認証されます。

METAS: スイス連邦計量・認定局

3 仕様及び概要

15000ガウス



お客様のOMEGA®時計は15000ガウスの磁気に耐えられるように設計されています。これは通常使用時に時計がさらされる以上の磁気にも耐えうる耐磁性能です。例えば、ハンドバックの開閉部に使用されている磁石は2000ガウスに達することがあります。お客様の時計は磁気のために停止することはなく、さらに、一定の磁気にさらされた後でも、精度に影響が出ることはありません。

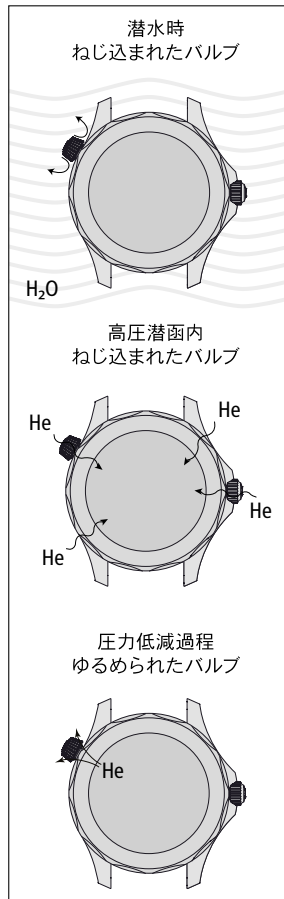
3 仕様及び概要

温度補正クォーツ



温度補正を備えたクォーツ式時計

このムーブメントには電子モジュールが搭載されており、クォーツのムーブメントの精度に温度変化が与える影響を補正します。



ヘリウム・エスケープバルブを搭載したオメガ シーマスターは、飽和潜水を実施するプロ並びにアマチュアダイバーのために開発されました。この専門的な潜水は、主に深海における作業に活用されています。ダイバーは、作業と作業の間、潜水深度と同等の圧力に設定され、酸素、水素、ヘリウムを始めとする混合ガスに満たされた高压潜函内に滞在します。この技術は減圧症の危険を減少させながら、長時間の潜水を可能にします。作業が終わると圧力低減過程が開始し、ダイバーは高压潜函内で段階的に大気圧に戻されます。

高压潜函や深海ステーションに長期間留まると、ヘリウムが拡散して防水素材を通り抜け、腕時計の内部に入り込みます。入り込んだヘリウムは、圧力低減過程において、腕時計内部で超過圧を発生させ、時計を損傷させることがあります。バルブは圧力低減過程でこの超過圧を排除する機能を持っています。



ヘリウム・エスケープバルブの使用法

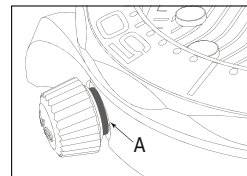
ヘリウム・エスケープ手動バルブ：

腕時計にヘリウム・エスケープ手動バルブが搭載されている場合、水中では常にバルブをねじ込んでおき、水が浸入しないよう安全性を確保する必要があります。

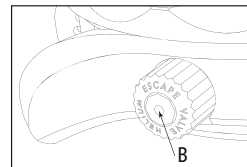
バルブは高压潜函内における圧力低減過程（ダイバーを大気圧に戻す）に限りゆるめることができます。

備考：たとえバルブがゆるめられていても、時計の防水性は5気圧（50m/167フィート）までは保たれます。いずれにしても、バルブがねじ込まれた状態で水中に潜ることをお勧めします。

ポジションインジケーター：バルブは、ゆるんでいる状態で見える赤色の表示（A）を備えています。

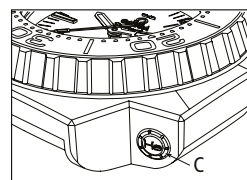


修正ボタン：バルブは、内蔵されたカレンダーの修正ボタンを備えています。バルブの中央に位置する修正ボタンは、バルブが完全にねじ込まれている状態で機能するようになっています。



ヘリウム・エスケープ自動バルブ：

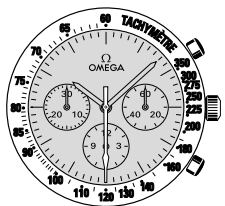
腕時計にヘリウム・エスケープ自動バルブ（C）が搭載されている場合、一切操作は必要ありません。





タキメーター、パルスメーターなどの目盛りを読み取るには、最大60秒までのクロノグラフの秒針とそれに対応する目盛りを見ます。テレメーターについては、分積算計を使って、1分経過することに秒針によって表示される距離に20kmを加算します。

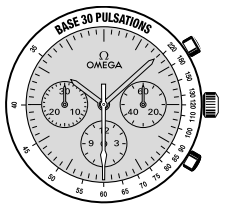
タキメーターの使い方



例：自動車のスピード測定。

自動車が1kmの距離を走行するのに要する時間を測定します。中央秒針が指すタキメーターの目盛りを読み取ります。この例では、走行スピードは120km/hです。

パルスメーター目盛りの使い方

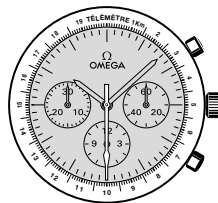


例：1分間の脈拍数の測定。

クロノグラフを始動させ、クロノグラフの目盛りに応じた脈拍でストップさせます（この例では30拍目）。パルスメーター目盛り上で1分間の脈拍数を読み取ります。この例では、60拍/分です。



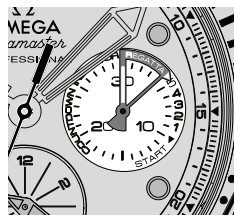
テレメーター目盛りの使い方



例：現在地から、光と音を同時に発する現象（雷など）までの距離の測定。

光（稲妻など）を観測した時にクロノグラフを始動させ、音（雷鳴）が聞こえたらストップさせます。この例では、雷との距離は9.9kmです。

クロノグラフの分カウンターを読み取り (シーマスター ダイバー 300M、ETNZ 2015)



例：レガッタ開始前のカウントダウン。

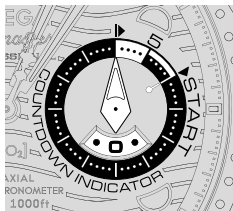
3時カウンター：

内側の目盛により、レガッタ針の白い部分からクロノグラフの分数を読み取ることができます。

外側の目盛により、レガッタ開始前の5分間のカウントダウンをすることができます。

レガッタ出発5分前の最初の信号でクロノグラフが始動し、操縦士がスタートラインに最も近い位置を取ります。

クロノグラフ分積算計を読み取る (シーマスターダイバー300M アメリカズカップ)



例：レガッタがスタートするまでの時間をカウントダウン。

3時位置カウンター：

3時位置カウンターには分針と時間窓があります。表示の白い部分は、レガッタのスタートまで10分間のカウントダウンを示します。レガッタ開始前は2段階に分けられ、最初の5分はポートやクルーの準備、残りの5分はポートの配置に割り当てられます。

レガッタのスタート10分前の号砲でクロノグラフを開始させます。

この折り畳み式クラスプ専用のオメガ製バンドだけを使用します。確実な状態で安心してお使い頂くために、オメガ公認のサービス・センターで新しいクラスプを取り付けるようお勧めします。バンドの長さはいつでもご自身で調節可能です。

開く (図1)： クラスプの両サイドに付いた2つのプッシュボタンを同時に押した状態で引き上げます。

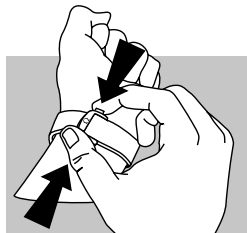


図1

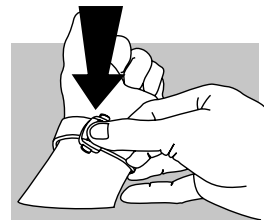


図2

閉じる (図2)： 時計を手首にはめ、ストラップを通し穴に通してカチッと音がするまでクラスプを押します。

長さの調整 (図3)： 金具Aと突起Bから、長いほうのストラップをはずします。必要に応じて長さを調整し、ストラップの穴を突起Bにはめ、ストラップの両サイドを金具Aの内側に納めます。必要があれば、再度調整してください。

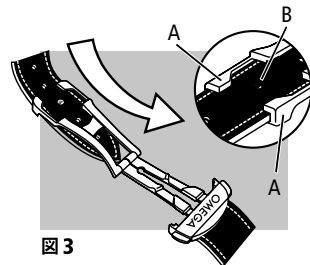
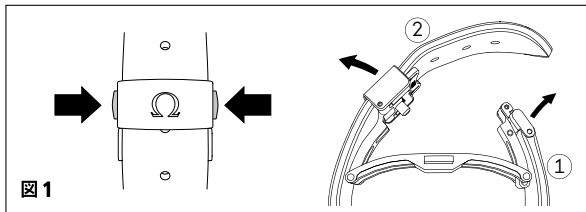


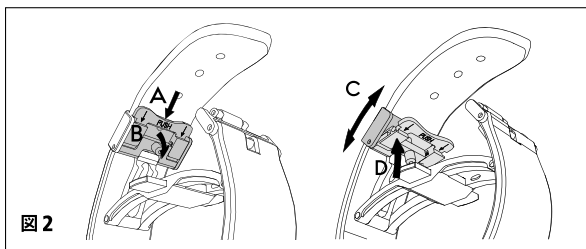
図3

トリプル折り畳み式クラスプ：

開く (図1)：クラスプを開くには、オメガ・バックルの両方を押し
てから引き上げます。



閉める：OMEGA時計を手首にはめ、12時の金具①を閉めます。
6時②の先端を定革に通し、6時の金具をカチッと音がするまで閉めます。



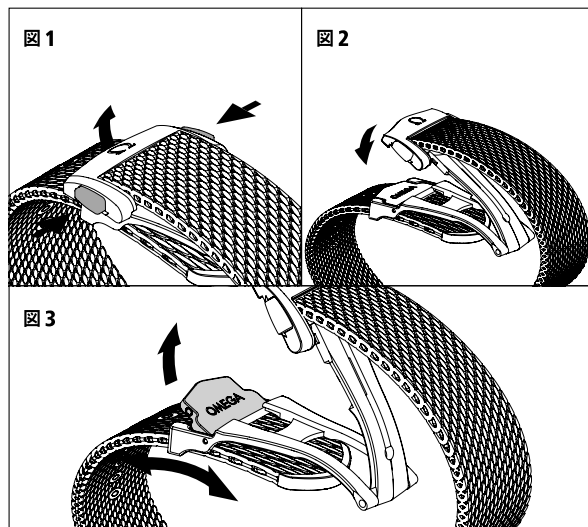
長さの調整 (図2)：PUSHボタンを (A) の方向に向かって押し、金具
(B) がはずれるように動かします。カバーの中のベルトをずらして、
好みの調節位置 (C) に移動させてください。
可動部を押して穴を突起にはめしっかりと固定し (D)、ベルトを傷つ
けないようにします。
必要に応じて調整ください。

メタルメッシュブレスレットのフォールディングクラスプ：

外し方 (図1)：クラスプの側面にあるプッシャー2つを押し、上に
引き上げます。

留め方 (図2)：オメガの時計を手首に付け、カチッと音がなるまで
クラスプを押します。

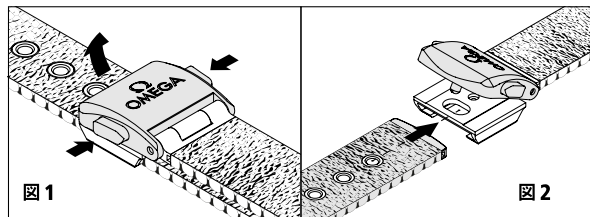
ブレスレットの長さを調整する (図3)：ロック部分のタブを持ち
上げ、ストラップの端を外します。ストラップを希望の長さまでスラ
イドさせ、ロック部分のタブをカチッと音がするまで押して固定させ
ます。



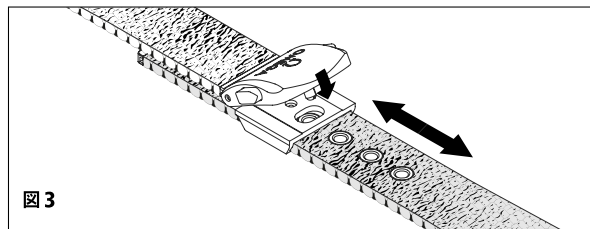
メッシュブレスレットのバックル:

開く (図1): クラスプの両サイドに付いた2つのプッシュボタンを同時に押した状態で引き上げます。

閉じる (図2): 時計を手首にはめ、ブレスレットの端を金具に通し入れてカチッと音がするまでクラスプを押します。

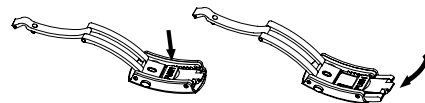


長さの調整 (図3): クラスプを開けてブレスレットの長い方を突起から外します。ブレスレットを調整し、再び突起に留めます。手首にぴったり合うまで調整してください。



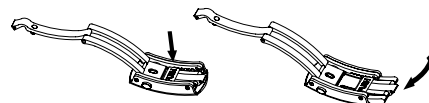
ラック式クラスプ:

長さの微調整:



ダイバーエクステンション付きラック式クラスプ:

長さの微調整:

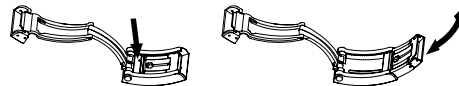


ダイバーエクステンションの使い方:



プロブロフ クラスプ:

長さの微調整:



ダイバーエクステンションの使い方:



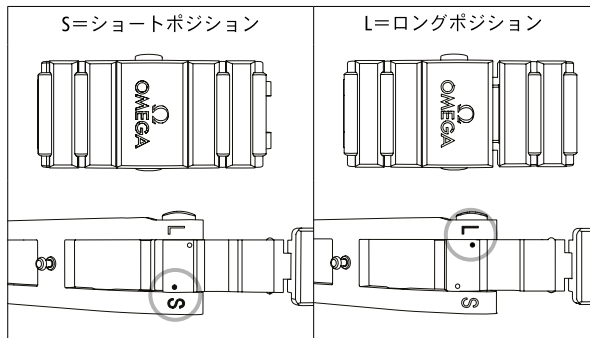
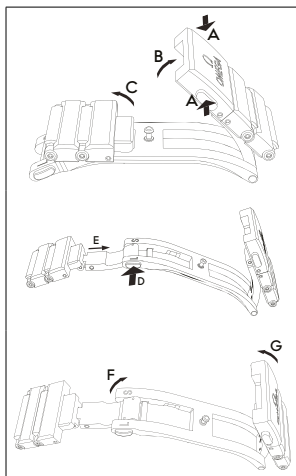
備考: ダイバーエクステンションを折りたたむには、上記の手順を逆に行ってください。

エクステンションシステム付きバタフライクラスプ：

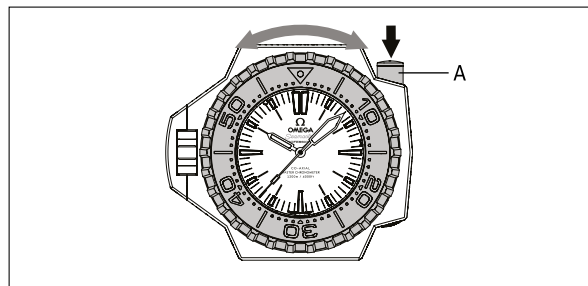
エクステンションシステムを使った調整：クラスプを開くには、カバーの両方 (A) を押してから引き上げます (B)。

定革 (C) をはずし、ベースのプッシュボタン (D) を押したまま金具 (E) を好みの位置に移動させます。

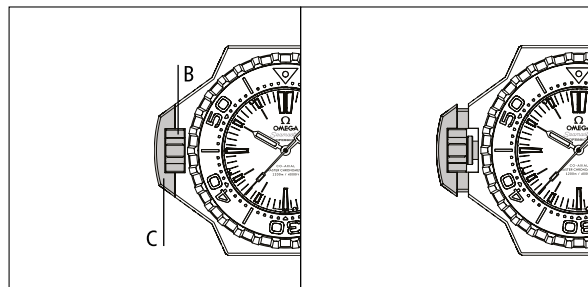
移動させたらプッシュボタンを放して、6時 (F)、次いで12時 (G) の定革を閉じます。



回転ベゼルの使い方：プッシュボタンAを押したままベゼルを回転させます。



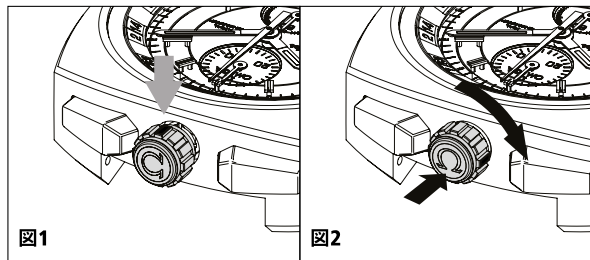
リュウズの使い方：リュウズBを使用するには、あらかじめリュウズのねじ込みを解除しておく必要があります。この時リュウズガードCは、回転せずリュウズと一緒に平行に引き出されます。操作後は、リュウズを1の位置に押し込み、再びネジを締めて下さい (防水性確保のため)。



備考：リュウズは9時の位置にあります。同一機能を備えています。

3 仕様及び概要 ブルヘッド リュуз

ブルヘッドのリュузのねじ込み方: ブルヘッドのリュузをねじ込むには、ブラックのマークが上に来るようにします (図1)。リュузを押し、90度回転させてネジを締めてください (図2)。

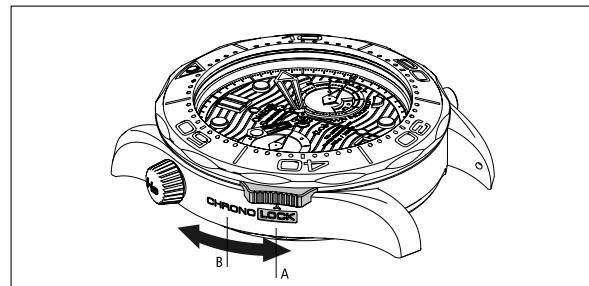


3 仕様及び概要 クロノロック

クロノロックとは、クロノグラフプッシュボタンをロックして、誤ってプッシュボタンを押してしまうのを防ぎ、確実な計時を可能にするシステムです。

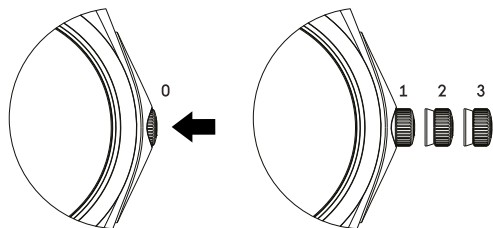
クロノロックの使い方: ロッキングリングがロックのポジション (A) にある時に、プッシュボタンがロックされます。

ロックを解除するには、ロッキングリングをクロノポジション (B) まで動かしてください。プッシュボタンが機能するようになります。



3 仕様及び概要 収納可能なリュуз

収納可能なリュузの使い方: リュузを押し、放して、1の位置にします。2および3の位置にするには、リュузを引き出して下さい。リュузを1または2の位置に戻すには、まず0の位置 (着用時の通常位置) まで押し込む必要があります。



3 仕様及び概要 素早く付け替えられるストラップ

ストラップシステムの使い方:

ラバーストラップを外す (図1): ボタンを下方方向にスライドさせ、ラグの間からストラップを外してウォッチケースから離します。

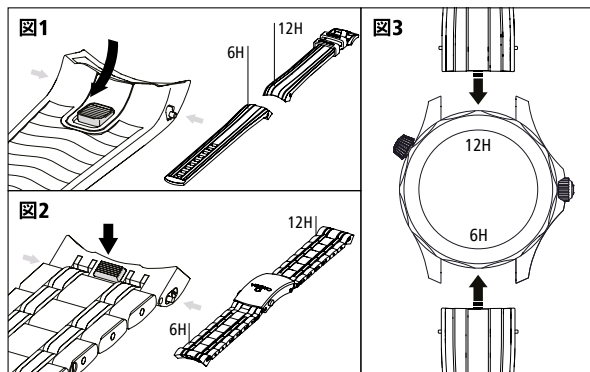
ラバーストラップを取り付ける (図1~3): ボタンを下方方向にスライドさせ、中心部を押し込みます。ウォッチケースのラグの間にストラップを差し入れます。ボタンを放し、中心部が適切な位置に固定されるまでラグの間のストラップを優しく動かしてください。

素早く付け替えられるストラップ

ステンレススティール製ブレスレットを外す (図2)： ボタンを下方方向にスライドさせ、ラグの間からストラップを外してウォッチケースから離します。

ラバーストラップを取り付ける (図2～3)： ボタンを押し、中心部を押し込みます。ウォッチケースのラグの間にブレスレットを差し入れます。ボタンを放し、中心部が適切な位置に固定されるまでラグの間のブレスレットを優しく動かしてください。

- △ ストラップまたはブレスレットがラグの間に正しく収まっていることを目視で確認してください。また、ストラップまたはブレスレットを優しく引っ張って、両端がウォッチケースにしっかり接続されていることを確認してください。



各種のピクトグラム

	キャリバー番号		ムーンフェイス
	Master Chronometer (マスター クロノメーター) 認定		バッテリー消耗インジケーター
	コアアクシャル脱進機		タキメーター
	ヒゲゼンマイSi 14		パルスメーター
	スピレート™ システム		テレメーター
	耐磁性能15000ガウス (1.5 テスラ)		サファイア・クリスタル
	温度補正クォーツムーブメント		無反射コーティング
	クォーツ		両面反射防止加工
	自動巻き		サファイア・クリスタルの裏蓋
	手巻き		セラミック ケース
	クロノメーター		ネジ込み式リュース
	クロノグラフ		ヘリウム・エスケープバルブ
	タイムゾーン機能		ゴールド750%
	年次カレンダー		Sedna™ Gold ゴールド 750%
	日付		Canopus Gold™ ゴールド 750%
	永久 (パーペチュアル) カレンダー		Moonshine™ Gold ゴールド 750%
	ラトラバンテ		Bronze Gold ゴールド 375%
	パワーリザーブ表示		プラチナ950%
	第二時間帯		パラジウム950%
	ワールドタイマー (WT)		Liquidmetal™
	Day-date		OMEGA CERAGOLD™

3 仕様及び概要 各種のピクトグラム

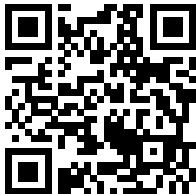
	ガンマチタン		15気圧防水 (150m/500feet)
	チタン		20気圧防水 (200m/660feet)
	O-MEGASTEEL		30気圧防水 (300m/1000feet)
	セラミック製ベゼル		60気圧防水 (600m/2000feet)
	ダイヤモンドセッティング		100気圧防水 (1000m/3300feet)
	リミテッド・エディション		120気圧防水 (1200m/4000feet)
	個別番号付エディション		600気圧防水 (6000m/20000feet)
	5年間有効な オメガ国際保証		ISO 6425:2018を順守 した飽和潜水用の ダイバーズウォッチ
	WEEE クォーツ		
	酸化銀 ボタン電池		
	二酸化マンガン・ リチウム ボタン電池		
	非防水性		
	3気圧防水 (30m/100feet)		
	5気圧防水 (50m/167feet)		
	6気圧防水 (60m/200feet)		
	10気圧防水 (100m/330feet)		
	12気圧防水 (120m/390feet)		
	13.5気圧防水 (135m/440feet)		

Ω OMEGA

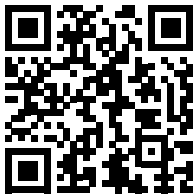
Please visit www.omegawatches.com/stores for a list of our OMEGA agents
请前往 www.omegawatches.cn/stores/zh 欧米茄销售点列表



English



中文



OMEGA authorized service centres

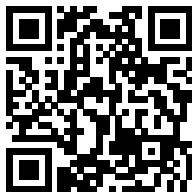
Ω
OMEGA
SERVICE CENTRE

Please visit www.omegawatches.com/service-centres for a list of OMEGA authorized service centres

请前往 www.omegawatches.cn/cn/customer-service 欧米茄特约维修中心列表



English



中文



Importers of OMEGA products into the European Union, the United Kingdom and Norway

Importateurs des produits OMEGA pour l'Union Européenne, le Royaume-Uni et la Norvège

Importeure von OMEGA Produkten für die Europäische Union, das Vereinigte Königreich und Norwegen

Country	Importer according to the customs documentation	Address for information in case of need
Austria Österreich	The Swatch Group (Österreich) GmbH Ares Tower Donau-City-Strasse 11 1220 Wien Austria	The Swatch Group (Österreich) GmbH Ares Tower Donau-City-Strasse 11 1220 Wien Austria
Belgium België Belgien Belgique	The Swatch Group (Belgium) SA/NV Chaussée de Mons 1424 1070 Bruxelles Belgium	The Swatch Group (Belgium) SA/NV Chaussée de Mons 1424 1070 Bruxelles Belgium
Bulgaria Република България	GIULIAN LTD. 11 Paris str., Office #2, floor #1 1000 Sofia Bulgaria	GIULIAN LTD. 11 Paris str., Office #2, floor #1 1000 Sofia Bulgaria
Cyprus Κύπρος Kibris	The Swatch Group Greece S.M.S.A. Sygrou & 3 Mantzagriotaki Str. Kallithea 17672 Athens Greece	The Swatch Group Greece S.M.S.A. Sygrou & 3 Mantzagriotaki Str. Kallithea 17672 Athens Greece
Croatia Hrvatska	SLOWATCH D.O.O. Produtiska Cesta 152 1000 Ljubljana Slovenia	SLOWATCH D.O.O. Produtiska Cesta 152 1000 Ljubljana Slovenia
Czech Republic Česká Republika	KVEDU Praha S.R.O. Na Prikope 17 110 00 Praha 1 Czech Republic	KVEDU Praha S.R.O. Na Prikope 17 110 00 Praha 1 Czech Republic

Denmark Danmark	The Swatch Group (Nordic) Helleruphus Strandvejen 102 B, 4th. floor 2900 Hellerup Denmark	The Swatch Group (Nordic) Helleruphus Strandvejen 102 B, 4th. floor 2900 Hellerup Denmark
Finland Suomi	The Swatch Group (Nordic) Äyritie 12 B 01510 Vantaa Finland	The Swatch Group (Nordic) Äyritie 12 B 01510 Vantaa Finland
France	The Swatch Group (France) S.A.S. 112-114, avenue Kléber 75116 Paris France	The Swatch Group (France) S.A.S. 112-114, avenue Kléber 75116 Paris France
Germany Deutschland	The Swatch Group (Deutschland) GmbH Frankfurter Straße 20 65760 Eschborn Germany	The Swatch Group (Deutschland) GmbH Frankfurter Straße 20 65760 Eschborn Germany
Greece Ελλάδα	The Swatch Group Greece S.M.S.A. Sygrou & 3 Mantzagriotaki Str. Kallithea 17672 Athens Greece	The Swatch Group Greece S.M.S.A. Sygrou & 3 Mantzagriotaki Str. Kallithea 17672 Athens Greece
Hungary Magyarország	KZM Király utca 52 l.em 8 1065 Budapest Hungary	KZM Király utca 52 l.em 8 1065 Budapest Hungary
Ireland Éire	The Swatch Group (UK) Limited Building 1000, 2nd Floor East Wing The Royals Business Park Dockside Road London E16 2QU United Kingdom	The Swatch Group (UK) Limited Building 1000, 2nd Floor East Wing The Royals Business Park Dockside Road London E16 2QU United Kingdom

Italy Italia	The Swatch Group (Italia) S.p.A. Via Washington 70 20146 Milano Italy	The Swatch Group (Italia) S.p.A. Via Washington 70 20146 Milano Italy
Latvia Latvija	DIMAX SIA 1 - 1 Valnu 1050 Riga Latvia	DIMAX SIA 1 - 1 Valnu 1050 Riga Latvia
Lithuania Lietuva	BEGALYBES VALDYMAS Antano Tumeno G. 4-10 01009 Vilnius Lithuania	BEGALYBES VALDYMAS Antano Tumeno G. 4-10 01009 Vilnius Lithuania
Luxembourg Letzebuerg	The Swatch Group (Belgium) SA/NV Chaussée de Mons 1424 1070 Bruxelles Belgium	The Swatch Group (Belgium) SA/NV Chaussée de Mons 1424 1070 Bruxelles Belgium
Malta	RJM Diffusion S.A. Avenue de la Gare 1 1003 Lausanne Switzerland	RJM Diffusion S.A. Avenue de la Gare 1 1003 Lausanne Switzerland
Netherlands Nederland	The Swatch Group (Netherlands) B.V. Kennedyplein 8 5611 ZS Eindhoven Netherlands	The Swatch Group (Netherlands) B.V. Kennedyplein 8 5611 ZS Eindhoven Netherlands
Norway Noreg Norge	The Swatch Group (Nordic) nuf Lørenveien 73D NO-0585 Oslo Norway	The Swatch Group (Nordic) nuf Lørenveien 73D NO-0585 Oslo Norway
Poland Polska	The Swatch Group (Polska) Sp. z o.o. ul. Marynarska 15 PL-02-674 Warsaw Poland	The Swatch Group (Polska) Sp. z o.o. ul. Marynarska 15 PL-02-674 Warsaw Poland
Portugal	Tempus Internacional S.A. Av. Infante D. Henrique Lote 1679, R/C Dto. CLJ. 1950 - 420 Lisboa Portugal	Tempus Internacional S.A. Av. Infante D. Henrique Lote 1679, R/C Dto. CLJ. 1950 - 420 Lisboa Portugal

Romania România	CHRONOSTYLE INTERNATIONAL SRL 5 Sofia street, Sector 1 011837 Bucharest Romania	CHRONOSTYLE INTERNATIONAL SRL 5 Sofia street, Sector 1 011837 Bucharest Romania
	Impulse Romania SRL Calea Dorobantilor 153 Sector 1 010564 Bucharest Romania	Impulse Romania SRL Calea Dorobantilor 153 Sector 1 010564 Bucharest Romania
Slovenia Slovenija	SLOWATCH D.O.O. Produtiska Cesta 152 1000 Ljubljana Slovenia	SLOWATCH D.O.O. Produtiska Cesta 152 1000 Ljubljana Slovenia
Slovakia	KVEDU Praha S.R.O. Na Prikope 17 110 00 Praha 1 Czech Rep	KVEDU Praha S.R.O. Na Prikope 17 110 00 Praha 1 Czech Rep
Spain España	The Swatch Group (España) S.A. Edificio C Miniparc 1 Calle Yuca, 2 Urbanización el Soto de la Moraleja 28109 Alcobendas Madrid Spain	The Swatch Group (España) S.A. Edificio C Miniparc 1 Calle Yuca, 2 Urbanización el Soto de la Moraleja 28109 Alcobendas Madrid Spain
Sweden Sverige	The Swatch Group (Nordic) AB Sankt Eriksgatan 47 P.O. Box 12033 SE-112 34 Stockholm Sweden	The Swatch Group (Nordic) AB Sankt Eriksgatan 47 P.O. Box 12033 SE-112 34 Stockholm Sweden
United Kingdom	The Swatch Group (UK) Limited Building 1000, 2nd Floor East Wing The Royals Business Park Dockside Road London E16 2QU United Kingdom	The Swatch Group (UK) Limited Building 1000, 2nd Floor East Wing The Royals Business Park Dockside Road London E16 2QU United Kingdom

